

平成26年度「チャレンジテスト」検証シート

学校名 大阪市立長吉中学校

【第1学年】

生徒数(人) 113

平均得点(点)

	国語	数学	英語
学校	60.6	48.7	60.8
大阪市	61.8	52.6	66.9
大阪府	63.2	53.7	69.3

平均無解答率(%)

	国語	数学	英語
学校	6.5	6.7	5.7
大阪市	5.8	6.0	5.1
大阪府	5.4	5.9	4.9

結果の概要

- 平均得点については、大阪府平均と比較して国語で2.6ポイント、数学で5ポイント、英語で8.5ポイント下回った。国語における話すこと・聞くことは大阪市平均得点を0.5ポイント上回った。
- 平均無解答率についても、大阪府・大阪市平均を下回る結果となった。

成果と今後取り組むべき課題

【成果】 習熟度別少人数授業、TT等の個に応じた指導により、成果が少しずつではあるが表れてきている。今後も個に応じた指導を継続するとともに検証をより細かく行い、より一層の内容の充実と改善を推進する。

【今後の取り組むべき課題】 学習意欲や目標意識の向上を図るとともに、生徒自身がわからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を創造することによって学力向上を図る。

【第2学年】

生徒数(人) 108

平均得点(点)

	国語	社会A	数学	理科A	英語
学校	53.8	42.1	44.5	37.3	45.2
大阪市	61.3	48.3	47.0	47.0	52.5
大阪府	62.9	49.6	49.4	48.6	55.0

平均無解答率(%)

	国語	社会A	数学	理科A	英語
学校	8.4	8.2	11.4	6.7	6.1
大阪市	6.2	7.0	8.3	5.3	4.0
大阪府	5.3	6.3	7.5	4.7	3.8

結果の概要

- 平均得点については、大阪府平均と比較して国語で9.1ポイント、社会で7.5ポイント、数学で4.9ポイント、理科で11.3ポイント、英語で9.8ポイント下回った。
- 平均無解答率についても、大阪府・大阪市平均を下回る結果となった。

成果と今後取り組むべき課題

【成果】 習熟度別少人数授業、TT等の個に応じた指導により、成果が少しずつではあるが表れてきている。今後も個に応じた指導を継続するとともに検証をより細かく行い、より一層の内容の充実と改善を推進する。

【今後の取り組むべき課題】 学習意欲や目標意識の向上を図るとともに、生徒自身がわからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を創造することによって学力向上を図る。